

副市長・都市建設部長 平成21年

3月に本市から足利警察署に設置を要望して以来、毎年足利警察署から栃木県警察本部に要望が行われている。周辺の土地利用が大きく変わってきたことを勘案しながら、引き続き根気よく要望していききたい。



▲今福橋交差点

認知症の早期発見を！



富永 悦子 議員

「あたまの健康チェック」は簡単なパソコンの操作で軽度認知障害を早期に見出すためのプログラムであり、97%の精密度で判別できる。本市でも認知症予防のため、実施できないか。

福祉部長

軽度認知障害を簡易にチェックできる有効なものと考えているが、法律に従い実施している65歳以上の特定検診に項目として追加することは難しい。今後の認知症の予防対策の一つとして参考にした。

問 AEDは、平成16年から一般の人も使用できるようになっ

た。休日や夜間に校庭や体育館が利用されているが、AEDの設置場所は校舎内が多い。緊急時に、すぐ使用できるように体育館に設置できないか。

教育次長

体育館に設置するには、校舎内にあるAEDを移設することや新規に設置することなどが考えられる。校舎と体育館との距離が離れている場合の対応など十分に考慮しながら検討していききたい。



▲校舎内に設置されているAED

問

レセプトデータは、医療費の適正化に効果があり、国保財政にとって大きなメリットがあるが、活用状況を聞きたい。また、データヘルス計画の推進に向けての方針と今後の対策について聞きたい。

生活環境部長

レセプト（診療報酬請求明細書）データをもとに医療費の分析、医療通知の実施、多受診・重複受診者を抽出しての訪問指導、ジェネリック医薬品の利用促進などに活用している。データヘルス計画については、現在、国民健康保険は努力義務である。保険料、給付費を低く抑える効果も期待できるので、時期や他市の状況も参考にしながら、策定していく方向で検討していききたい。

市長の行政運営について問う！



中島 由美子 議員

問

行政改革は、行政組織の効率化と経費削減を目的としている。子や孫にツケを残してまで投資するのではなく、財政の収支を考えた行政運営が重要であると思うが、所見を聞きたい。

市長

最小限の費用で最大限の効果を目指す一方で、チャンスが訪れたときには、めり張りをつけて積極的に攻める行政も必要である。足利市を元気で輝きのあるまちにするためには、いろいろな角度から検討しなければならぬと思う。

問

「映像のまち」構想については、今年度予算が計上されているが、構想の核となる撮影スタジオ建設の実態がなかなか見えてこない。どのような状況なのか。

副市長

撮影スタジオをつくらうという関係者が足利につくりたいと思ってもらえるように、信頼関係を築きながら「映像のまち足利」を売り込んでいく。撮影スタジオは、最後のシンボリックなものになると思うので、建設には時間がかかると考える。不育症治療には高額な費用が一環として治療費の一部を助成する自治体がある。本市も公的支援をすべきと考えるがどうか。

富永 悦子 議員

- 市民の命を守る対策について
- ・ AEDの有効活用と応急手当の普及啓発
- ・ AEDが24時間使用可能な設置の推進
- ・ 住宅用火災警報器の設置推進
- 市民の健康保持増進と医療費の削減について
- ・ レセプト活用による医療費適正化の推進
- ・ ジェネリック医薬品の普及促進
- 地域包括ケアシステムについて
- ・ 認知症高齢者対策
- ・ 認知症高齢者の早期発見

中島 由美子 議員

- 市長の政治姿勢について
- ・ 人口減少問題
- ・ 「映像のまち」構想の進捗状況
- ・ 行政運営
- 教育行政について
- ・ 不登校対策の推進
- 女性政策について
- ・ 女性の活躍推進
- ・ 不育症治療への支援



福祉部長

不育症の治療法には医療保険が適用されるものもあるが、保険適用外の検査等に頼らざるを得ないケースでは、全て自己負担となる。そこで、その経済的負担を軽減することが一人でも多くの命を育む可能性につながるものと考え、他市の状況等を踏まえ総合的に検討していく。



豪雨災害に万全の対応を！



平塚 茂 議員

問 8月の豪雨は全国で甚大な被害を発生させたが、同様の雨がいつ本市を襲うかわからない。適切な避難指示を発令し、避難情報を伝達する体制は万全なのか。

市長 土砂災害警戒情報が発表された際には、避難勧告等の発令は空振りを恐れず、早めに行うべきであると認識している。その際は広報車や消防車両による広報活動のほか、ホームページや消防防災情報メール

などで情報発信を行い、万全を期したい。



問 山の急斜面のコンクリート防護壁にかわり、雨に強く、環境に優しい新工法の「全天候フォレストベンチ工法」を導入し、防災強化を図ることを提案するがどうか。

都市建設部長 同工法は、間伐材を使用した柵田形状の土どめ柵で、斜面の安定と自然再生を目的としている。安全性や経済性に加え、周辺環境への配慮といった視点も加味し、導入について検討したい。

問 超高齢社会は待ったなしでやってくる。高齢者が健康で、いつまでも地域社会で活躍できるように、介護支援ボランティアポイント制度の導入を急がたい。

福祉部長 高齢者の生きがいづくり、介護予防、地域支え合いにつながる共助の事業を推進していくことが重要と考えている。ボランティア活動へのポイント付与制度については、平成29年4月までに開始する介護予防・日常生活支援総合事業の実施に当たり、検討したい。

足利学校のカヤぶき屋根の改修を！



小林 雅明 議員

問 足利学校のカヤは耐久年数が限界に近づいているが、雨漏りしてから対応しても遅い。貴重な文化財等も数多く所蔵しており、早急な改修計画書の作成が必要ではないか。

教育次長 これまでカヤの差しかえなどにより維持管理してきたが、小規模な改修では限界があると専門家から指摘もある。全面ふきかえに向けた改修計画が必要であると考えており、時期や財源も含め、大規模な雨漏りなどの大事に至ることのないよう対応していきたい。



▲足利学校の方丈・庫裡(くり)

問 ふるさと足利応援寄附金は、足利学校の改修費を寄附の使い道として選択できる。集まった寄附金の半分を基金に積み立て、将来に備えるべきと考えるがどうか。

平塚 茂 議員

- 防災・減災対策について
 - ・集中豪雨対策
 - ・竜巻対策
 - ・全天候フォレストベンチ工法の導入
- 高齢者福祉施策について
 - ・介護支援ボランティアポイント制度の導入
- 公共施設のバリアフリー化について
 - ・市民会館へのエレベーター設置

小林 雅明 議員

- ごみの収集運搬業務委託の実施について
 - ・これまでの評価
 - ・前回入札からの変更点
- ふるさと足利応援寄附金について
 - ・ふるさと足利応援寄附金の現状と今後の考え方
- 「映像のまち」構想について
 - ・撮影スタジオ
 - ・足利市ロケーション誘致促進補助金

